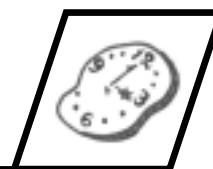


区民環境行動方針の検討経過



1 練馬区民環境行動方針策定準備会

練馬区民環境行動方針の策定は、「練馬区長期総合計画」および「練馬区環境基本計画2001-2010」に位置付けられていますが、その策定を進める前に、環境保全活動に取り組んでいる団体や事業者と区とで、策定の考え方と進め方を検討しました。(2002(平成14)年8月～11月。4回開催)

その結果、検討組織のあり方や検討の進め方の骨子が提案され、これに基づいて、検討委員の募集等が行われました。

【練馬区民環境行動方針策定準備会委員】(平成14年8～11月)

準備会委員氏名	役職等(準備会開催当時)
三島 次郎	前練馬・環境保全推進会議(=ねかほ)会長
谷口 紀昭	前練馬・環境保全推進会議(=ねかほ)副会長
板橋 弘和	前練馬・環境保全推進会議(=ねかほ)副会長
渡辺 桂子	環境美化推進委員(町会連合会(石神町会))
清水 一郎	東京練馬ライオンズクラブ
松岡 直子	ねりまエコ・アドバイザー
金子 禎子	関町リサイクルセンター活動機構代表
富田 杏二	NPO法人練馬まちづくりの会代表
戸田 了達	東京青年会議所練馬委員会
榎本 博夫	練馬区環境清掃部管理課長
佐々木 克己	練馬区環境清掃部環境保全課長

2 練馬区民環境行動方針検討会議検討委員の募集と登録

2002(平成14)年10月21日～11月15日までの間、練馬区が、練馬区民環境行動方針検討委員の公募を行いました。

応募条件は、練馬区内在住・在勤・在学のみで、「自分が取り組んでみたい環境にやさしい行動」をテーマとする意見を提出した94名全員を、検討委員として区が登録しました。

3 検討会議の発足

2002(平成14)年12月16日に第1回全体会が開催され、「練馬区民環境

行動方針検討会議」が発足しました。

この全体会では、準備会から提案された策定の進め方が大筋で合意されました。また、検討委員のための事前学習会の実施を担当する「学習会企画ワーキングチーム」と、検討会議の活動等について情報発信を担当する「情報発信企画ワーキングチーム」が希望者により結成されました。

なお、分科会の設置については、事前学習会の終了時点までに「学習会企画ワーキングチーム」が検討することとなりました。

4 事前学習会

「学習会企画ワーキングチーム」が企画する学習会が次のとおり開催されました。

(1)練馬区の環境の現状と課題に関する勉強会

練馬区の各担当部署の職員に依頼して、環境の現状と課題について、講義形式で勉強会を開催しました。

第 1 回・・・2003(平成 15)年 1 月 25 日
第 2 回・・・2003(平成 15)年 2 月 8 日

(2)ローカルアジェンダおよび計画策定における区民参加に関する講演会

区民・事業者による環境行動の計画づくりに必要な考え方について学習するため、講演会を開催しました。この講演会には、検討委員以外の区民の参加を募りました。

第 1 回環境講演会	
日時・・・2003(平成 15)年 3 月 8 日	会場・・・区立勤労福祉会館
講師・・・田中充さん(法政大学教授)「ローカル・アジェンダとは」	
高橋秀行さん(岩手県立大学助教授)「市民と行政の協働」	
参加者・・・検討委員 49 名	} 計 63 名
検討委員以外 17 名	

(3)先進自治体の住民との意見交換会

検討委員が、住民による環境行動計画・指針づくりを既に実施している自治体を訪問し、策定の主体となった住民と意見交換会を実施しました。

意見交換会を行った自治体は、日野市および台東区です。この意見交換

会には、検討委員以外の区民も参加しました。

第1回意見交換会 日野市 2003(平成15)年3月9日		
日野市倉沢里山、環境共生コーポラティブハウスの視察		
日野市環境基本計画・日野市環境配慮指針の策定に参加した市民との意見交換会		
参加者・・・検討委員	32名	} 計55名
検討委員以外	23名	

第2回意見交換会 台東区 2003(平成15)年3月18日		
台東リサイクルプラザ、上野公園の視察		
台東区環境基本計画・台東区環境配慮指針の策定に参加した区民との意見交換会		
参加者・・・検討委員	32名	} 計45名
検討委員以外	13名	



第1回環境講演会
(03.3.8)



台東リサイクルプラザの視察(台東区民に活動状況を聞く検討委員)(03.3.18)

5 分科会を主体とする方針たたき台の検討(1)

(1)分科会の設置および検討の進め方の決定

2003(平成15)年4月19日に第2回全体会を開催し、「学習会企画ワーキングチーム」の検討結果を踏まえ、分科会の設置および今後の検討の進め方を決定しました。また、各委員の希望に従い、委員の所属分科会を決定しました。

分科会名称	参加委員数
自然環境分科会	25名
エネルギー分科会	23名
ごみ資源分科会	17名
まち環境分科会	13名
有害物質分科会	8名
計	86名 (8名は途中辞退または分科会不参加)

また検討の進め方については、各分科会が主体的に決定することとしましたが、2003(平成 15)年 9 月に中間発表会、2004(平成 16)年 3 月にたたき台発表会を行い、2004(平成 16)年 3 月末を目途に、原案をまとめるスケジュールを決定しました。

(2)各分科会の検討作業

分科会ごとに、環境保全に関する課題を自分たちの手で発見することから、検討作業を開始しました。各分科会の検討作業の特徴は次のとおりです。(分科会の開催状況等はこの章の最後に掲載します。)

自然環境分科会

- ・ 自然環境分科会では、分科会を **緑グループ**、**水グループ**、**土グループ** の 3 グループに分けました。
- ・ 分科会全体で、5 回にわたる“自然環境ウォッチング”を行い、各回、地図とポストイットカードを用いて、練馬区の自然環境の課題を抽出し、整理しました。

【自然環境ウォッチング概要】

回	実施日	ウォッチングの場所	テーマ
1	03.5.30	白子川沿線(大泉井頭公園～外山橋)	白子川の源流を歩く
2	03.6.9	白子川沿線(比丘尼橋～越後山橋)	白子川の流域を歩く
3	03.6.17	石神井川沿線(武蔵関駅～武蔵関公園)	石神井川の流域を歩く
4	03.6.27	石神井川沿線(富士見橋～石神井公園)	石神井川の流域を歩く
5	03.7.15	田柄川緑道(平和台～光が丘)	田柄川緑道と農園を歩く

- ・ “自然環境ウォッチング”の結果を踏まえ、各グループは、緑・水・土のそれぞれについて、互いの関係に留意しながら、課題、取り組み方針、プロジェクトを検討しました。それぞれのグループの検討結果は、分科会全体会を開いて、協議・調整しました。

まち環境分科会

- ・ まち環境分科会では、10 回に及ぶ“まち歩き”を行い、地図とポストイットカードを用いて、各回、地域のまちの課題の発見と検討を行いました。

【まち歩き概要】

回	実施日	まち歩きの地域
1	03.5.14	平和台（環状第8号線、放射第35号建設予定地）付近
2	03.5.16	石神井公園～石神井商店街
3	03.5.18	光が丘地区の住宅団地とみどり
4	03.5.22	土支田・八の釜憩いの森付近、外環
5	03.5.25	北町（旧川越街道、北一商店街）
6	03.5.25	大泉学園駅南口付近、大泉学園町町並
7	03.5.28	中村橋駅～富士見台駅（高架化と商店街）
8	03.6.3	上石神井駅周辺（外環と商店街）
9	03.6.7	江古田駅周辺（商店街と大学）
10	03.6.8	氷川台付近（旧法区画整理施行地域と密集住宅地）

- ・ “まち歩き”の結果から、各地域に共通する課題と特定の地域に特徴的な課題を取り出して、練馬区全体としてのまち環境の課題を、景観、道路・交通、まち美化、商店街など、10の項目に整理しました。
- ・ そのうえで、区民・事業者と区の役割を考慮しながら、取り組み方針とプロジェクト提案を検討しました。

ごみ資源分科会

- ・ ごみ資源分科会では、委員各自が考える「ごみと資源に関わる課題」を出し合って整理するのと並行して、関係施設などの見学会や関係者のヒアリングの実施、講演会・シンポジウム・活動などへの参加を数多く行って、ごみ資源問題についての認識と議論を深めました。

【検討委員が実施・参加した主な見学会、ヒアリング、講演会、活動など】

施設見学	(株)五十嵐商会 IGARASHI 資源リサイクルセンター（北区浮間）	03.7
	中央防波堤埋立処分場（東京湾）	03.11
講演会、活動などへの参加	平成15年度練馬区環境月間行事講演会(回収資源のゆくえ)	03.6
	第11回生ごみリサイクル交流会（新宿区）	03.8
	春日町リサイクルセンター講座（生ごみは宝だ）	03.9
	シンポジウム「練馬のみどりと市民活動」	03.9
	小川町エネルギー学校（埼玉県小川町）	03.9～12
	VisionTokyo2003（東京都庁）	03.9
	多摩とことん討論会（立川市）	04.2
	平成15年度練馬区環境・リサイクルフェア	03.10
ヒアリング	J A あおば東京 渡邊氏	03.11
	農業体験農園経営 五十嵐氏	03.11
	練馬区環境清掃部清掃リサイクル課長 八十島氏	03.11

- ・ 分科会委員各自が自分の家庭で排出するごみと資源を区分して、それぞれの量を1週間計測しました。その結果を集計して、ごみとリサイクルに関わる課題の検討を行いました。

エネルギー分科会

- ・ エネルギー分科会では、プロジェクト重視型の検討を行いました。特に、“楽しく、得をする”という観点を入れて、多くの区民が参加しやすいプロジェクトを検討委員が出し合い、これを省エネルギー、自然エネルギー、エネルギーと環境に関わる環境学習の3分野に整理したうえで、検討を深め、絞り込んでプロジェクトの提案を行いました。
- ・ 検討委員が、それぞれの家庭で、電気・ガス・水・ガソリンの使用量やごみの排出量を、区が練馬環境保全推進会議の提案をもとに2001(平成13)年度に作成した『練馬区民の環境家計簿』を用いて測定しました。その結果をもとに、家庭内でのエネルギーの使用状況や課題を検討しました。

有害物質分科会

- ・ 有害物質分科会では、各自がそれぞれの課題について資料を集め、勉強して他の委員にレポートすることを繰り返し、検討を進めました。大気、地下水、土壌などの有害化学物質汚染のほか、特に、暮らしの中で使われている有害化学物質に着目し、その情報をどうやって区民に伝えるかが大きな論点となりました。



分科会での討議

6 中間発表会

各分科会で課題の検討が概ね終わった中間の段階で、それぞれの検討状況を、他分科会の検討委員および検討委員以外の区民・事業者に向けて情報提供するため、中間発表会を企画し開催しました。

中間発表会では、各分科会の検討分野における課題と今後の検討の方向が発表され、その発表内容に対して、委員同士、そして検討委員以外の区民と委員の意見交換が行われました。

中間発表会

日時・・・2003(平成15)年9月6日

会場・・・練馬区職員研修所

参加者・・・検討委員 48名
検討委員以外 6名 } 計54名

7 分科会を主体とする方針たたき台の検討(2)

中間発表会以降、各分科会では、中間発表会での意見交換も踏まえて、取り組みの方向やその方向に沿ったプロジェクトの検討を進め、2004(平成 16)年 1 月下旬までに、各分科会の報告書をまとめ、調整会議に提出しました。

報告書には、各分科会とも、少なくとも、
各分科会の担当する分野に関する現状と課題
取り組みの基本方針(理念)
提案するプロジェクト

の 3 点を盛り込みました。そのほかは、各分科会の特色を活かした報告を行いました。

8 情報紙「もっと！青い空」とインターネットホームページ

検討会議の発足時から、随時、情報紙「もっと！青い空」およびインターネットホームページ「もっと！青い空」を企画・作成して、検討会議に参加していない区民・事業者に向け、情報発信を行い、また意見などを寄せてもらいました。

情報紙・インターネットホームページの企画は、情報発信企画ワーキングチームが企画編集会議を開いて検討しました。その企画に従い、委員が取材したり、各分科会に原稿提出を依頼して記事を集め、情報紙、ホームページのそれぞれの編集を行いました。

なお、情報紙の印刷とホームページの掲載は区が行いました。

情報紙「もっと！青い空」は、2003(平成 15)年 2 月から 2004(平成 16)年 3 月の間に計 5 回発行しました。



【情報紙「もっと！青い空」創刊号～第5号の概要】 各A4版4ページ

号	発行時期	主 な 掲 載 記 事
1	03. 2	区民による行動方針づくりがスタート！ 学習会（勉強会第1回目）レポート 環境講演会・環境先進自治体見学会の案内 環境情報広場
2	03. 3	大きいぞ！みどりの環境改善効果 学習会（勉強会第2回目）・環境講演会・日野市見学会レポート 環境情報広場
3	03. 7	将来に・・・もっときれいな自然を残して 分科会報告 クローズアップ（春日町リサイクルセンター、愛和幼稚園） ポイ捨て、放置自転車
4	03.12	芸術のまちづくりで注目される「江古田」 進む！環境への取り組み（春日小学校、高松小学校、富士見台ほんちょう通り商店街） 区民環境行動方針検討会議中間発表会レポート
5	04. 3	みんなでもっと青い空へ！ 温暖化防止への取り組み（太陽光発電等） T O K Y O こどもエコクラブまつり 区民環境行動方針（たたき台）がまとまりました

区民環境行動方針の検討状況などを掲載したインターネットホームページは、区の環境のページ（ねりまのかんきょう）から閲覧できるようにしました。（<http://www.city.nerima.tokyo.jp/eco/>）

9 検討作業と並行して実施した学習会

分科会などの検討作業と並行して、検討委員以外の区民も参加する環境講演会を実施しました。

第2回環境講演会

日時・・・2003(平成15)年12月13日 会場・・・練馬区職員研修所

講師・・・白石好孝さん（NPO法人畑の教室代表・農業体験農園経営）

「都市と農業の共生を目指して～農業の産業廃棄物は酸素です」

大野郁宏さん（㈱西友 社会環境グループマネジャー）

「流通業の環境対策」

参加者・・・検討委員 31名
検討委員以外 5名 } 計36名

第3回環境講演会

日時・・・2004(平成16)年2月15日 会場・・・区立関区民ホール

講師・・・浅羽理恵さん(川口市民環境会議代表)

「埼玉県川口市で3万人がエコライフにチャレンジ」

石川直彦さん(区立高松小学校教諭)

「学校発信型の環境教育の進め方」

参加者・・・検討委員	33名	}	計71名
検討委員以外	38名		

10 たたき台の作成

(1)全体会による分科会報告の検討

各分科会の報告を受け、2004(平成16)年1月31日に、第3回全体会を開催し、分科会間の意見交換と調整を行いました。

第3回全体会(分科会報告に関する意見交換等)

日時・・・2004(平成16)年1月31日

会場・・・練馬区役所本庁舎会議室

参加者・・・検討委員 44名

(2)たたき台起草委員会の活動

検討会議では、区民のみなさんに提示して意見をいただくためのたたき台を起草するため、第3回全体会(2004(平成16)年1月31日)において、各分科会2名からなる「たたき台起草委員会」を設置しました。

起草委員は、調整会議および所属する分科会と調整しながら担当分野についてのたたき台を作成し、それらを持ち寄って、起草委員会で調整しました。あわせて、「第6章 環境学習」や資料である「検討会議と検討委員」「検討経過」などの部分についても、起草委員会で検討し、たたき台を作成しました。

11 たたき台の公表と説明会、意見の募集

検討会議では、2004(平成16年)3月10日にたたき台を公表しました。

そして同日から 3 月 23 日までの間、区民等の意見や提案を求めました。この間の 3 月 14 日には、たたき台の説明会を開催し、区民環境行動方針の意義やたたき台の内容について、直接区民等に説明しました。

たたき台の公表と意見募集

公表・意見募集期間・・・2004(平成 16)年 3 月 10 日～23 日

公表場所・・・練馬区役所本庁舎環境保全課、区民情報広場
各出張所、各図書館、勤労福祉会館、女性センター、
関町リサイクルセンター、春日町リサイクルセンター
(計 33 か所)

その他の公表方法・・・練馬区のホームページに全文掲載

広報・・・練馬区報 3 月 1 日号および練馬区ホームページ

たたき台説明会

日時・・・2004(平成 16)年 3 月 14 日

午後 2 時～4 時 30 分

会場・・・練馬区立勤労福祉会館

参加者・・・検討委員 40 名

委員以外の区民等 19 名



この結果、区民等 26 名から、計 153 項目にのぼる意見・提案等が寄せられました(説明会での意見等を含む)。たたき台に対する意見・提案等の概要は、「区民および区職員の意見概要」に掲載したとおりです。

12 区民環境行動方針案の作成(たたき台の修正)と先行して検討するプロジェクト案の抽出

区民等から寄せられた意見・提案を検討し、必要な部分についてたたき台を修正しました。

また、たたき台に掲載したプロジェクトについて、その実行可能性等を検討し、先行して検討するプロジェクト案(22 プロジェクト案)を抽出し、その具体化に向けた検討を開始しました。

先行して検討するプロジェクト案の一覧は 107 ページのとおりです。

13 練馬区の関係部署との意見交換会の開催

検討会議は、2004（平成16）年7月5～9日の間に、4回にわたって、先行して検討するプロジェクト案の具体化に関することを中心として、練馬区の関係部署の職員と意見交換を開催しました。この意見交換会は、区の職員から、その具体化にあたっての課題、留意点などについて情報提供を受けるとともに、区民環境行動方針やその提案プロジェクトの考え方や意義について区関係部署の理解を深めることを目的として実施したものです。

【区関係部署との意見交換会概要】

開催日 (2004年) 会場	意見交換会のテーマ	参加 委員数	参加した区の関係部署
7月5日 練馬区立 文化セン ター	“循環と共生” 資源循環や地球環 境保全への貢献を中 心に	18名	環境清掃部管理課 環境清掃部清掃リサイクル課 環境清掃部練馬清掃事務所 環境清掃部環境保全課
7月6日 練馬区職 員研修所	“練馬の自然” - 自然・農業を中心 に -	25名	土木部建設課 土木部公園緑地課 産業経済部経済課 環境清掃部環境保全課
7月8日 練馬区職 員研修所	“練馬の市街地” - 市街地の環境問題 を中心に -	14名	都市整備部都市計画課 土木部交通安全課 産業経済部商工観光課 環境清掃部環境保全課
7月9日 練馬区本 庁舎区民 交流会場	“環境学習” 区民の環境意識の 向上と行動への動機 付け	18名	学校教育部指導室 生涯学習部生涯学習課 練馬区保健所生活衛生課 環境清掃部管理課 環境清掃部石神井清掃事務所 環境清掃部環境保全課

意見交換会での質疑の概要は、「区民および区職員の意見概要」に掲載したとおりです。



14 区民環境行動方針の決定と方針本編および概要版の作成

区民環境行動方針のたたき台の作成、たたき台に対するパブリックコメント、たたき台の修正、先行して検討するプロジェクト案の検討、プロジェクト案に関する区関係部署との意見交換を経て、区民環境行動方針案を作成し、2004(平成16)年8月、検討会議において区民環境行動方針を決定しました。

また、区民環境行動方針の本編と概要版を作成しました。

概要版は、検討会議内に、概要版企画委員会を設置して作成しました。この概要版は、「先行して検討するプロジェクト案」の紹介を中心に、区民・事業者に今後の取り組み内容を知らせるとともに、プロジェクト案の具体化への参加を呼びかけるものとなりました。

15 区民環境行動方針検討会議の解散とプロジェクト推進組織の結成

2004(平成16)年8月6日、練馬区民環境行動方針検討会議は行動方針の作成を終えて解散しました。同日、先行して検討するプロジェクト案の説明会を開催しました。

プロジェクト案発表会		
日時・・・2004(平成16)年8月6日		
午後6時30分～8時30分		
会場・・・練馬区職員研修所		
参加者・・・検討委員	36名	} 計 43名
委員以外の区民等	7名	

検討会議解散後は、行動方針で提案したプロジェクト案の実現に向けて、プロジェクト案の具体化を目指すプロジェクト推進組織を結成し、さらにそれらの組織の連絡・調整を行う会議体をつくって、行動方針に沿った取り組みを進めていくこととしました。

練馬区民環境行動方針検討会議の活動状況

検討会議が設置された第1回全体会(2002(平成14)年12月16日)から、解散したプロジェクト案説明会(2004(平成16)年8月6日)までの約1年8か月間に開催された分科会、ワーキングチーム打合せ、全体会などの回数は、以下のとおりです。

【検討組織別会議等開催回数】

(2002.12.16～2004.8.6)

検討会議の組織	開催回数
自然環境分科会	64
まち環境分科会	26
ごみ資源分科会	110
エネルギー分科会	22
有害物質分科会	19
情報発信企画ワーキングチーム	11
学習会企画ワーキングチーム	3
レディース会議	1
調整会議、代表・副代表打合せ	19
たたき台起草委員会	6
概要版企画会議	4
全体会	3
学習会、見学会(意見交換会)	7
区職員との意見交換会	4
たたき台発表会	1
プロジェクト案発表会	1
計	301

発足当時94名の検討会議委員が登録されましたが、分科会参加委員は86名でした。また、区民環境行動方針の検討会等に継続的に参加した委員は、概ね50名程度でした。